

平成23年11月 8日
新庄河川事務所

「大規模土砂災害」を想定した危機管理演習を実施します
～鮭川流域で土砂ダムが発生し大規模な土石流の発生の恐れがあるとの想定～

今年、台風12号による大雨の影響により、紀伊半島地域において土砂ダムが突発的に多数発生しました。決壊した場合には大規模な土石流が発生し、下流沿川において甚大な被害が生じることが懸念されています。

新庄河川事務所では、このような災害に対応すべく、直下型地震に伴い鮭川流域において土砂ダムが形成されたとのシナリオに基づき、下記関係機関と一堂に会して、ロールプレイング方式による実践的な危機管理演習を実施します。

本演習は、関係機関との連携強化、土砂災害防止法の一部改正に基づく情報の共有・伝達、災害対応の技術力の向上を目的とします。

1. 演習日時 平成23年11月15日（火）10:00～14:00
2. 実施場所 施設：真室川町 総合運動公園 体育館
住所：真室川町大字新町945
3. 参加人員 約160名
4. 参加機関 市町村：真室川町、金山町、鮭川村
山形県：県土整備部、最上総合支庁
自衛隊：陸上自衛隊 第20普通科連隊 連隊本部
気象庁：山形地方气象台
マスコミ：山形新聞社、時事通信社
砂防ボランティア協会
国土交通省：東北地方整備局、新庄河川事務所

※ 当日の気象状況等により、演習を中止する場合があります。

＜発表記者先：新庄新聞放送記者会、山形県政記者クラブ＞

問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
山形県新庄市小田島町5-55
TEL:0233-22-0251(代)
副所長(技術) 高橋 孝男 (内線204)
建設監督官 伊藤 基博 (内線501)

別紙

●土砂災害防止法の一部改正

平成23年5月1日に土砂災害防止法の一部改正が施行され、河道閉塞（土砂ダム）の高さがおおむね20m以上ある場合は、国土交通省が緊急調査を行い、被害が及ぶおそれがある土地の区域・時期に関する情報を関係自治体の長に通知すると共に、一般に周知することになりました。

●大規模土砂災害

大規模土砂災害とは、地震・豪雨・火山噴火等による土砂災害であって、大規模な土石流、地すべり等、天然ダム（河道閉塞）のように現象が進行性のもの、同時多発的に発生する土砂災害、火山噴火による火砕流・溶岩流・火山泥流等の大規模土砂流出やそれに伴い発生する大規模な天然ダムなど、対応に高度な技術を要するため通常の土砂災害に対する体制では限界があり、社会的な影響が甚大または被害が広範囲に及ぶおそれがあるものなど、国の役割が重要となるものをいいます。

●ロールプレイング方式

ロールプレイング式とは、現実に近い場면을想定したシナリオをあらかじめ設定した上で、参加者（プレイヤー）にはシナリオを事前には知らせずに、演習開始後、逐次情報を付与して、プレイヤーが自ら行動を想定することにより、問題解決能力を習得する模擬訓練方法のことをいいます。

（役割演技法、情報付与法とも称されます。）

●本演習における情報の伝達手法

演習会場内に構築したWEBメールシステムと、携帯電話、FAX（手渡し）を情報伝達手段とします。

●一般見学

本演習は一般公開で行います。一般の方々も見学が自由に行えます。

平成 23 年度 鮭川流域における大規模土砂災害を想定した危機管理演習

【日 時】

平成 23 年 11 月 15 日 (火)

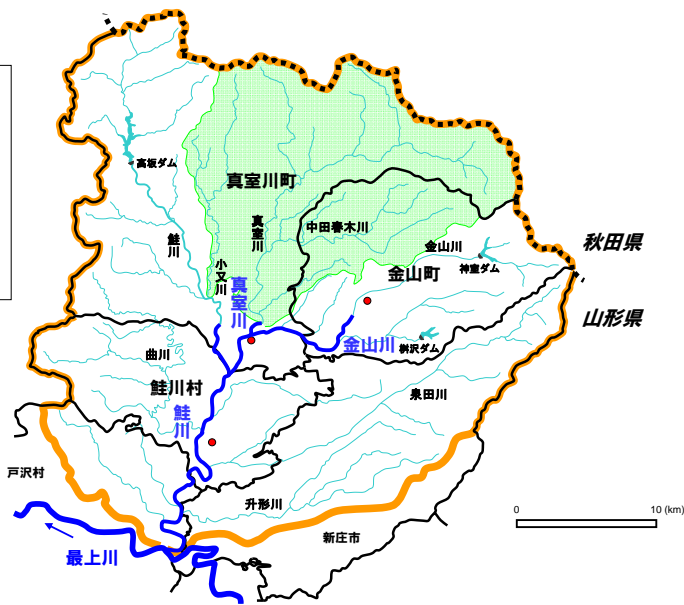
9:30~16:00

9:30	参加者集合
9:30~10:00	直前説明、準備
10:00~14:00	危機管理演習
15:00~16:00	講評、アンケート記入
16:00~	解散後、撤収

【対象地域 (鮭川流域)】

直轄管理区間
最上川：60.0km
鮭川：23.3km
真室川：5.0km
金山川：7.8km
直轄砂防流域
面積：250.3km²

● 町村役場
●●● 県境界
— 市町村境界
— 河川
— 流域界



【会 場】

真室川町民総合体育館
(真室川町大字新町 945)

【演習方法】

ロールプレイング方式 (役割演技法、情報付与法ともいう)

【想定災害】

鮭川断層帯における直下型地震の発生に伴う、土砂ダムの形成と決壊による大規模土石流発生のおそれ及び地すべりの発生

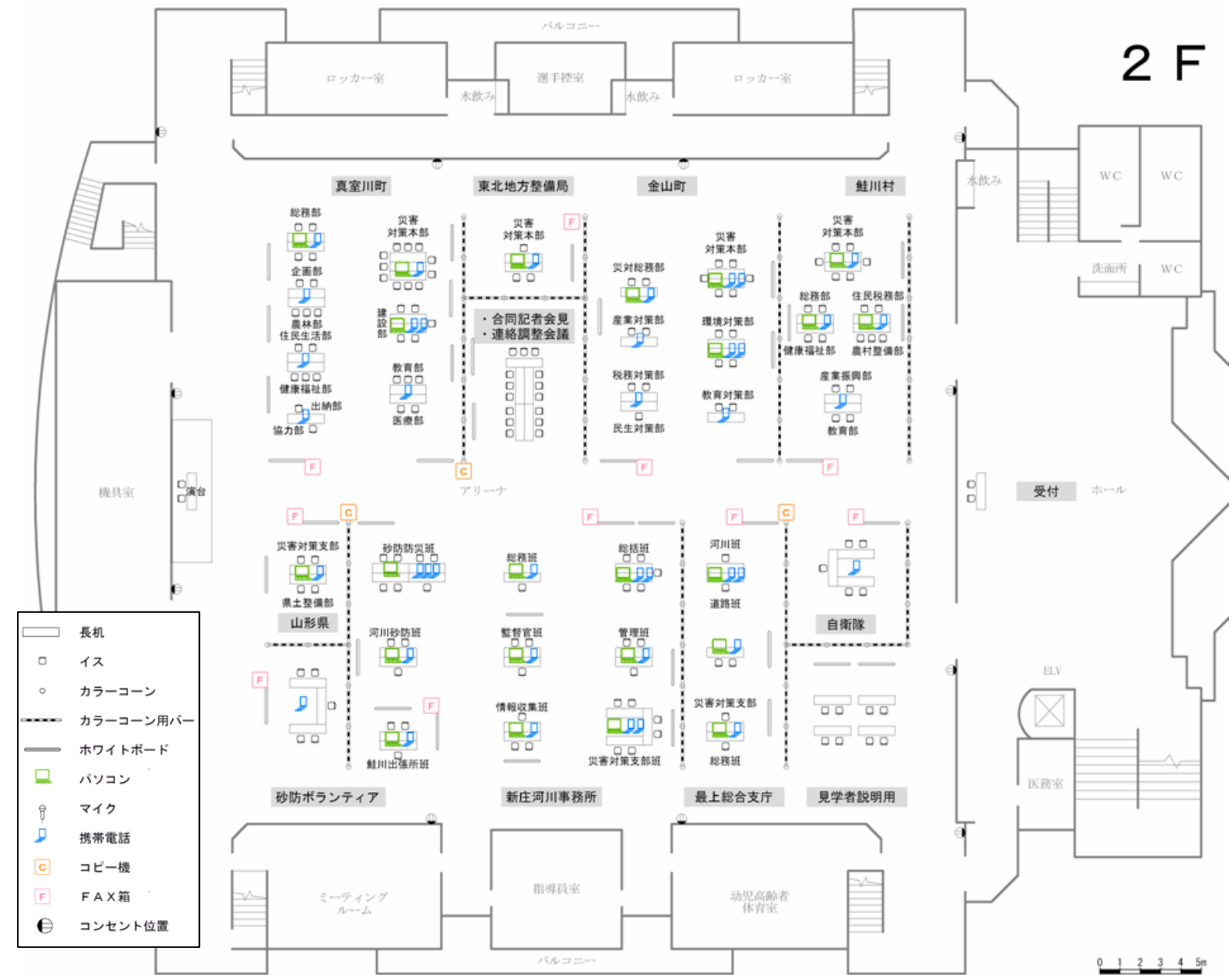
土砂ダム：金山町内において大規模な斜面崩壊に伴い、土砂ダムが形成

地すべり：真室川町内で地すべりが発生

【主要演習項目】

No.	大規模土砂災害対応に関する主要演習項目	演習対象機関
1	【情報収集・伝達、関係機関との情報共有】 ○協定に基づく土砂災害情報の伝達・共有の対応 (電話及び FAX)	市町村 山形県
2	【土砂ダム、地すべりの災害に対する迅速な緊急調査、緊急対策等】 ○土砂ダム、地すべりの緊急調査対応 ○土砂ダム、地すべりの緊急対策、監視観測対応の検討	自衛隊 気象庁 砂防ボランティア
3	【災害対策本部、支部の適切な運営】 ○連絡調整会議 (仮称) の開催 (国、県、町・村の役割分担など) ○災害関連情報の内部周知	国土交通省
4	【住民避難対応】 ○警戒避難計画の検討 ○避難準備情報⇒避難勧告・指示⇒避難所への誘導	市町村 自衛隊
5	【資機材支援、技術支援等】 ○協定に基づく災害対策資機材などの支援への対応	国土交通省
6	【報道機関に対する対応】 ○土砂災害緊急情報の一般への周知、仮定の合同記者会見の対応 ○マスコミ (プレイヤー) からの質問対応、適切な記者投げ込み対応 (報道発表資料作成を含む)	市町村 山形県 マスコミ

【会場レイアウト】



【演習参加機関】 (括弧数字は兼務含む)

		プレイヤー	コントローラー	合計
市町村	真室川町	27	1	28
	金山町	13	1	14
	鮭川村	13	1	14
山形県	県土整備部	6	2	8
	最上総合支庁	6	2	8
自衛隊	陸上自衛隊第 20 普通科連隊	5	2	7
気象庁	山形地方気象台		2	2
マスコミ	山形新聞	1		1
	時事通信	1	(1)	(2)
砂防ボランティア	直轄砂防ボランティア	5		5
国土交通省	東北地方整備局	4	(1)	4
	新庄河川事務所	34	24	58
補助人員	砂防ボランティア		9	9
合計		114	46	160